

第1回 (2020年度) 日本セラミックス協会功績大賞受賞者

まきしま あきお
牧島 亮男 氏



牧島亮男氏は、創造的・独創的な発想に基づいてガラス科学技術分野の発展に多大な貢献をした。なかでも、ガラスのヤング率の理論計算式の提唱、高硬度な酸窒化物ガラスや化学的耐久性に優れた希土類含有アルミノケイ酸塩ガラスなどの新種ガラスの開拓に関する研究はとくに著名な業績であり、これらをはじめとする多数の研究論文と知的財産は、現在も数多く引用されている。本協会に於いては、1985年以降19年間にわたって理事を務め、とくに科学・技術研究理事や国際交流理事としてそれぞれの事業活動推進に尽力した。また、2001～2004年度には副会長、2005年度には会長を歴任した。2010年度以降は顧問及び経営諮問会議委員として会長に適切な助言を行い、協会運営に貢献している。2008年には国際セラミックス連盟会長、また国際ガラス委員会に協会代表として委員を務め、複数の国際会議を開催した。

以上、同氏は本会における活動を通じてセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げるとともに、長年にわたって日本セラミックス協会の活動と運営に極めて多大な貢献をした。よって、日本セラミックス協会功績大賞として表彰する。

略歴 1966年3月東京工業大化学工学科卒、1971年同博士課程修了、同年同大学助手、同年9月～1974年8月UCLA 博士研究員、1977年無機材質研究所研究員、同総合研究官、1988年東京大学工学部金属工学科教授、1995年同大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授、2000年北陸先端科学技術大学院大学教授、2001年東京大学名誉教授、2002年ナノマテリアルテクノロジーセンター長、2004年同大学副学長、2008年同大 特別学長顧問、同年同大名誉教授、2010年シニアプロフェッサー、2016年マレーシア日本国際工科院副院長、2018年同退任

受賞歴 1970年日本セラミックス協会進歩賞、1983年市村賞（貢献賞）、1987年科学技術長官賞注目発明選定証、1989年米国セラミック学会フェロー表彰、1991年近畿アルミニウム表面処理研究会誌論文賞、1991年～Professional Member of World Academy of Ceramics、1992年日本セラミックス協会学術賞、1993年科学技術長官賞注目発明選定証、2011年永年継続会員賞、2016年 ICG President Award、同年日本セラミックス協会フェロー表彰

協会歴 1985年度～1986年度、1989年度～1990年度、1996年度～2009年度理事（2001年度～2004年度副会長、2005年度会長）、2016年度～顧問、2018年度～名誉会員